

平成29年度11月実施
第8回
農業簿記検定[®]
③級 問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**1時間30分（90分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から12頁まで印刷**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会
監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 次の文章の（ ア ）～（ エ ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

農業簿記の目的は、正しい記帳を行うことにより、一定期間の（ ア ）と一定期日の（ イ ）を明らかにすることにある。農業簿記では、一定期間の（ ア ）を明らかにするために（ ウ ）を作成し、一定期日の（ イ ）を明らかにするために（ エ ）を作成する。

【選択肢】

- | | | | |
|------------|---------|----------|------------|
| 1. ア. 経営成績 | イ. 財政状態 | ウ. 損益計算書 | エ. 貸借対照表 |
| 2. ア. 財政状態 | イ. 経営成績 | ウ. 貸借対照表 | エ. 損益計算書 |
| 3. ア. 財政状態 | イ. 経営成績 | ウ. 収支計算書 | エ. 青色申告決算書 |
| 4. ア. 収支状況 | イ. 課税所得 | ウ. 収支計算書 | エ. 青色申告計算書 |
| 5. ア. 経営成績 | イ. 財政状態 | ウ. 貸借対照表 | エ. 損益計算書 |

問題 2 次の各文章を読み、資産の減少が生ずる取引はいくつあるか下記から選びなさい。

1. 畑地の地代を現金で支払った。
2. 種苗費を掛けで購入した。
3. 現金を元入れして農業経営を開始した。
4. 畑のキャベツを運搬車ごと盗まれた。
5. 畑地を借り受ける約束を交わした。

【選択肢】

1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ 5. 5つ

問題 3 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 複式簿記における取引は必ず「取引の二重性」と「貸借平均の原理」を充足する。
2. 仕訳とは取引が生じた都度適切な勘定科目と金額を決定し、その勘定科目と金額を借方と貸方に振り分ける作業をいう。
3. 損益計算書等式とは「費用＋当期純利益＝収益」である。
4. 資本等式とは「資産－負債＝純資産」である。
5. 貸借対照表等式とは「純資産＝資産－負債」である。

問題 4 次の〔資料〕に基づくア～オの記述のうち正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

当期の収益総額 8,000,000 円
当期の費用総額 8,200,000 円
期末の資産総額 6,900,000 円
期末の負債総額 3,600,000 円

- ア. 期首の純資産合計は 3,500,000 円である。
- イ. 期末の純資産合計は 3,300,000 円である。
- ウ. 当期の売上の総額は 8,000,000 円である。
- エ. 当期の現金支出の総額は 8,200,000 円である。
- オ. 当期純利益は 200,000 円である。

【選択肢】

1. アイ
2. アオ
3. イエ
4. イオ
5. ウエ

問題 5 次の〔資料〕に基づくア～エの決算整理仕訳の中には誤った仕訳がある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

アグリ農場は冬小麦を作付けしている。この収穫は来年の初夏を予定している。当該小麦作付けにかかる費用として12月末現在で種苗費223,000円、肥料費830,000円、農薬費520,000円が計上されているが、うち肥料については38,000円、農薬については80,000円相当が未使用のまま倉庫に保管されている。12月末に決算を迎えた。

ア.	(借)	仕掛品	1,455,000	(貸)	期末仕掛品棚卸高	1,455,000
イ.	(借)	仕掛品	1,573,000	(貸)	期末仕掛品棚卸高	1,573,000
ウ.	(借)	原材料	118,000	(貸)	期末材料棚卸高	118,000
エ.	(借)	貯蔵品	118,000	(貸)	肥料費	38,000
					農薬費	80,000

【選択肢】

1. アウ
2. アエ
3. イウ
4. イエ
5. ウエ

問題 6 次の文章の（ア）～（エ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

農業特有の減価償却資産には（ア）がある。成熟した繁殖牛、繁殖豚や成木となった果樹など、収益を生み出すために使用している資産である。搾乳牛や繁殖牛にするために育てている家畜や、成木とするために栽培している果樹苗の育成にかかった費用は、将来、家畜や果樹が成熟期を迎えた後、生産活動をすることで初めて収益の獲得に貢献する。その成熟するまでの間、（イ）に蓄積して資産計上する。そして、成熟した段階で（ウ）である（ア）に振替えて、（エ）により費用化する。

【選択肢】

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. ア. 温室 | イ. 育成仮勘定 | ウ. 農産物 | エ. 減価償却 |
| 2. ア. 農業用機械 | イ. 仕掛品 | ウ. 減価償却資産 | エ. 減価償却 |
| 3. ア. 生物 | イ. 育成費振替高 | ウ. 減価償却資産 | エ. 固定資産 |
| 4. ア. 生物 | イ. 育成仮勘定 | ウ. 減価償却資産 | エ. 減価償却 |
| 5. ア. 生物 | イ. 育成仮勘定 | ウ. 仕掛品 | エ. 生物売却原価 |

問題 7 次の仕訳の（ア）～（エ）にあてはまる勘定科目ないし金額の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

帳簿価額 360,000 円の搾乳牛を 300,000 円で売却し、販売手数料 25,000 円を差し引いた 275,000 円が普通預金に入金された。

(借)	普通預金	275,000	(貸)	(ア)	300,000
	販売手数料	25,000			
(借)	(イ)	(ウ)	(貸)	(エ)	(ウ)

【選択肢】

- | | | | |
|--------------|-----------|------------|-----------|
| 1. ア. 生物売却収入 | イ. 生物 | ウ. 60,000 | エ. 生物売却損 |
| 2. ア. 生物売却収入 | イ. 生物売却原価 | ウ. 360,000 | エ. 生物 |
| 3. ア. 生物 | イ. 生物売却原価 | ウ. 300,000 | エ. 生物売却収入 |
| 4. ア. 生物売却収入 | イ. 生物 | ウ. 210,000 | エ. 生物売却益 |
| 5. ア. 生物 | イ. 生物売却損 | ウ. 60,000 | エ. 生物売却原価 |

問題 8 次の〔資料〕に基づいて当期の農産物売上高がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

- ア. 前年度に掛販売した農産物の代金 280,000 円が普通預金に振り込まれた。
- イ. 農産物を出荷し、売上代金 3,000,000 円から前年度に受け取った前受金 1,800,000 円を控除した残額は後日受け取ることにした。
- ウ. 出荷した農産物に破損があったことから 8,000 円の値引きをした。
- エ. 親戚への贈答として農産物 15,000 円相当を贈った。

【選択肢】

- 1. 1,207,000 円
- 2. 1,487,000 円
- 3. 2,992,000 円
- 4. 3,007,000 円
- 5. 3,272,000 円

問題 9 次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

元入金について

所得税の計算においては、資本金に相当する部分を元入金と呼ぶ。農業を営むための資本金(元入金)は次の要因によって増減する。

- ア. 事業により得た所得(利益)は資本の増加
- イ. 事業主からの追加元入れは資本の減少
- ウ. 事業主の生活費などの引き出しは資本の減少
- エ. 個人事業主の資本金は常に一定である。

【選択肢】

- 1. アイ 2. アウ 3. イウ 4. イエ 5. ウエ

問題 10～17

次の〔資料1〕および〔資料2〕に基づき平成28年12月31日現在の残高試算表を作成した場合について、以下の設問（問題10～17）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

〔資料1〕平成28年1月1日現在の残高試算表

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	521,000	買 掛 金	2,568,000
普 通 預 金	6,797,000	借 入 金	6,800,000
定 期 預 金	1,260,000	資 本 金	10,000,000
売 掛 金	550,000		
農 産 物	160,000		
建 物	5,560,000		
機 械 装 置	1,850,000		
車 両 運 搬 具	70,000		
土 地	2,500,000		
出 資 金	100,000		
	19,368,000		19,368,000

〔資料2〕平成28年1月1日から12月31日までにを行った取引

- 1月31日 前年度に掛販売した野菜の販売代金550,000円が、普通預金に振り込まれた。
- 2月10日 草刈機95,000円を購入し、現金で支払った。
- 3月17日 事業資金確保のため、銀行から1,000,000円を借入れ、利息分12,000円を差し引かれた残額が普通預金に入金された。
- 4月25日 農薬を706,000円で購入し代金は掛けとした。
- 4月26日 種苗を1,246,000円で購入し代金は掛けとした。
- 5月31日 肥料を2,432,000円で購入し代金は普通預金で支払った。
- 6月1日 米の出荷契約をし、契約金500,000円が普通預金に振り込まれた。
- 6月10日 トラクター（機械装置）を2,260,000円で購入し、代金のうち1,260,000円は普通預金より支払い、残額は後日払いとした。
- 7月25日 賃金手当350,000円の支払において、社会保険料と源泉所得税の合計52,000円を差し引いて普通預金で支払った。
- 7月29日 生産用の電気・水道料金として391,000円使用しており、普通預金から支払った。
- 8月21日 作業の休憩時のおやつ3,000円を購入し、現金で支払った。
- 9月28日 近隣農家の稲の刈取り・乾燥作業を受託し、代金280,000円が普通預金に振り込まれた。

- 10月30日 農地の地代として134,000円を普通預金より支払った。
- 11月2日 トラクター故障のため、修理代として198,000円を普通預金から支払った。
- 11月11日 米を出荷し、6月1日の契約金500,000円が控除され、3,800,000円が普通預金に振り込まれた。
- 11月30日 野菜を1,500,000円で販売し、代金は掛けとした。
- 12月9日 買掛金のうち、2,568,000円を普通預金より支払った。

残高試算表

平成28年12月31日

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金		買掛金	(オ)
普通預金	(ア)	未払金	
定期預金		預り金	
売掛金		借入金	
農産物		資本金	
建物		水稻売上高	(カ)
機械装置	(イ)	野菜売上高	
車両運搬具		(キ)	
土地			
出資金			
種苗費			
肥料費			
農薬費			
賃金手当	(ウ)		
福利厚生費			
農具費			
修繕費			
動力光熱費			
支払地代	(エ)		
支払利息			
	(ク)		(ク)

問題 10 前頁の表中の（ア）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 5,634,000 2. 5,646,000 3. 6,004,000 4. 6,134,000 5. 8,066,000

問題 11 前頁の表中の（イ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,850,000 2. 2,850,000 3. 3,110,000 4. 3,850,000 5. 4,110,000

問題 12 前頁の表中の（ウ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 298,000 2. 300,000 3. 350,000 4. 402,000 5. 530,000

問題 13 前頁の表中の（エ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,000 2. 134,000 3. 143,000 4. 146,000 5. 150,000

問題 14 前頁の表中の（オ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 706,000 2. 1,246,000 3. 1,546,000 4. 1,952,000 5. 4,520,000

問題 15 前頁の表中の（カ）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 280,000 2. 500,000 3. 1,500,000 4. 3,800,000 5. 4,300,000

問題 16 前頁の表中の（キ）に記入する勘定科目として、最も適切な勘定科目の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 作業受託収入 2. 受取利息 3. 生物売却収入 4. 作業委託益 5. 作付助成収入

問題 17 前頁の表中の（ク）に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 7,516,000 2. 26,884,000 3. 27,384,000 4. 28,384,000 5. 28,884,000

問題 18～25

次の期末修正事項に基づき精算表を作成した場合について、以下の設問（問題 18～25）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

期末修正事項

- 1) 米や野菜などの農産物の期末における実地棚卸高は、342,000円であった。
- 2) 肥料や農薬などの材料の期末における実地棚卸高は、113,000円であった。
- 3) 売掛金の期末残高に対し、5.5%の貸倒れを見積もる。なお、洗替法により処理する。
- 4) 減価償却を税法の定めに従い次のとおり行なう。

建 物 定 額 法（耐用年数 15 年、償却率 0.067、減価償却累計額 335,000 円）

機 械 装 置 定 額 法（耐用年数 7 年、償却率 0.143、減価償却累計額 715,000 円）

車 両 運 搬 具 定 額 法（耐用年数 4 年、償却率 0.250、減価償却累計額 250,000 円）

- 5) 修繕費のうち、60,000円は来期にかかる機械保守点検料として支払ったものである。
- 6) 賃貸料収入のうち、トラクターの貸付料に対する前受分が36,000円ある。
- 7) 当期決算の後に支払った支払利息21,000円のうち、当期にかかる分が14,000円あった。
- 8) 雑収入の未収分が100,000円ある。

精 算 表

平成 28 年 12 月 31 日

(単位：円)

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	135,000							
普 通 預 金	1,118,000							
売 掛 金	540,000							
農 産 物	339,000						(ア)	
原 材 料	97,500							
建 物	1,250,000							
機 械 装 置	2,500,000							
車 両 運 搬 具	750,000							
土 地	1,500,000							
買 掛 金		902,000						
借 入 金		3,500,000						
貸 倒 引 当 金		23,000						
減 価 償 却 累 計 額		1,300,000						
資 本 金		1,000,000						
売 上 高		6,420,000						
受 取 利 息		3,000						
貸 貸 料 収 入		135,000				(イ)		
雑 収 入		348,000						
種 苗 費	323,500							
肥 料 費	1,477,000							
農 薬 費	723,500							
貸 金 手 当	2,300,000							
修 繕 費	268,000							
動 力 光 熱 費	274,500							
支 払 利 息	35,000				(ウ)			
	13,631,000	13,631,000						
期首農産物棚卸高								
期末農産物棚卸高								
期首材料棚卸高					(エ)			
期末材料棚卸高								
貸倒引当金戻入								
貸倒引当金繰入					(オ)			
減 価 償 却 費					(カ)			
前 払 費 用							(キ)	
前 受 収 益								
未 払 費 用								
未 収 収 益								
当 期 純 ()					(ク)			

問題 18 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 3,000 2. 339,000 3. 342,000 4. 393,000 5. 681,000

問題 19 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 99,000 2. 100,000 3. 135,000 4. 171,000 5. 199,000

問題 20 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 14,000 2. 21,000 3. 35,000 4. 49,000 5. 56,000

問題 21 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 97,500 2. 113,000 3. 339,000 4. 342,000 5. 455,000

問題 22 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 6,700 2. 23,000 3. 27,000 4. 29,700 5. 52,700

問題 23 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 441,560 2. 460,000 3. 565,875 4. 628,750 5. 633,750

問題 24 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 14,000 2. 24,000 3. 36,000 4. 46,000 5. 60,000

問題 25 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 997,550 2. 1,011,550 3. 1,033,550 4. 1,057,550 5. 1,166,300